

平成29年度職員行動計画書実績

・内科(腎臓内分泌代謝内科)・1	・放射線診断科・・・47
・呼吸器内科・・・3	・放射線治療科・・・49
・消化器内科・・・5	・救命救急センター
・循環器内科・・・7	(救急科・救急外科)・・・51
・神経内科・・・9	・麻酔科・・・54
・緩和ケア内科・・・11	・保健指導室・・・56
・精神科・・・13	・看護科・・・58
・小児科・・・15	・ICU・CCU・・・61
・外科・・・17	・薬剤科・・・63
・呼吸器外科・・・19	・放射線技術科・・・65
・消化器外科・・・21	・臨床工学科・・・67
・血管外科・・・23	・臨床検査科・・・69
・心臓血管外科・・・25	・栄養科・・・71
・脳神経外科・・・27	・医療安全管理室・・・73
・乳腺外科・・・29	・病診連携室・・・75
・整形外科・・・31	・退院支援・医療相談室・77
・形成外科・・・33	・経営企画課・・・79
・皮膚科・・・35	・病院総務課・・・81
・泌尿器科・・・37	・医事課・・・83
・産婦人科・・・39	・改築推進室・・・85
・眼科・・・41	・災害医療企画室・・・87
・耳鼻咽喉科・・・43	・感染対策室・・・89
・リハビリテーション科・	
リハビリテーション技術科・45	

※「評価」欄は、目標に対して「150%以上：S」「120%以上 150%未満：A」

「100%以上 120%未満：B」「70%以上 100%未満：C」「70%未満：D」としています。

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	腎臓内分泌代謝内科	総括責任者	部長	今福 俊夫
病棟名	4D病棟	副責任者	看護師長	西島 由美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①開業医と密接に連携をとることで、病診連携を推進します。
②持続血糖測定器(CGM)を用いた糖尿病治療を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
講演会などで開業医に新しい機器、治療法を説明する	医師	紹介率	80%	47.13%	D	50.05%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	97%	98.85%	B	92.48%	紹介率・逆紹介率
開業医にCGMの導入を知らせる	医師	紹介率	80%	47.13%	D	50.05%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

新しい機器を用いた治療、新しい薬による治療について、患者さんに分かりやすく説明します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
CGMを用いた糖尿病治療の説明	医師	CGMを用いた患者数	10人	12人	A	0人	(なし)
常染色体優性多発性のう胞腎(ADPKD)の新しい治療を本で説明する	医師	患者数	30%増	6人	C	5人	(なし)
家族性高コレステロール血症の新しい治療法の説明	医師	患者数	30%増	1人	C	1人	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増を目指します。
②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携や新しい治療法による入院患者数の確保	医師	年間受入数	10%増	1,130人	C	1,188人	1日当たり平均入院患者数
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比10%減	26.92時間	B	33.20時間	職員給与費対医業収益比率
新しい治療法の推進による収入確保	医師	入院診療単価	前年度比10%増	44,391円	B	38,521円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	腎臓内分泌代謝内科	総括責任者	部長	今福 俊夫
病棟名	4D病棟	副責任者	看護師長	西島 由美

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

新専門医制度による専門研修基幹施設と連携強化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
専門研修基幹施設と情報交換会への参加	医師	参加回数	年5回	5回	B	3回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表の学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	1編	5編	S	2編	学会及び論文研究発表件数
学会発表	医師	発表数	年7回	22回	S	7回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	呼吸器内科	総括責任者	部長	浅井 芳人
病棟名	4D病棟	副責任者	看護師長	西島 由美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①知覚、認識の変化によりイノベーションを生み出します。
②地域開業医との連携を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病態疾患職能別組織をつくる。	医師、看護師	クリニカルプロセスの作成	7プロセス	4プロセス	D	-	(なし)
オーケストラ型組織の競合	医師、看護師	年間新入院患者数	300人	163人	D	264人	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

マーケティング活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
目安箱を設置し、患者満足向上に取り組む	医師、看護師	改善項目数	5個	0個	D	-	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

「全体最適」を追求します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
総労働時間の短縮を図る	医師、看護師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%削減	60.75時間	D	43.17時間	職員給与費対医業収益比率
DPCの研究により入院診療単価を上げる	医師、看護師	入院診療単価	前年度5%上昇	40,014円	C	39,230円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	呼吸器内科	総括責任者	部長	浅井 芳人
病棟名	4D病棟	副責任者	看護師長	西島 由美

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

新内科専門医制度による専門研修基幹施設との連携を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域の研究会への参加	医師	参加数	年5回	1回	D	2回	(なし)
病態疾患職能別組織による学習機会の確保	医師、看護師	呼吸器内科代表的7疾患のうち、最低1疾患以上習得している病棟看護師の率	100%	-		-	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文、発表など学術活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
論文発表数	医師	論文、発表数	1編	0編	D	1編	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	消化器内科	総括責任者	部長 厚川 和裕
—		副責任者	主任医長 斯波 忠彦

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い医療を実施し、地域医療に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介率	80%	72.02%	C	72.99%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	140%	123.19%	C	135.47%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが安心、快適に受診できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
検査・治療説明の一部動画化	医師・看護師	Webおよび待合室での動画	本年度5個	0個	D	0個	(なし)
検査・説明同意書の患者別個別化	医師	備考欄への個別の記載	100%	50%	D	-	(なし)
外来待ち時間短縮による業務の効率化	医師・看護師・事務	患者1人あたりの平均診察待ち時間	前回調査比10分短縮	52分	D	44分51秒	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保し、入院稼働額を増加させます。
- ②職員のコスト意識を高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による入院患者の確保	医師	年間受入数	前年度比5%増	20,391人	C	20,040人	1日当たり平均入院患者数
平均在院日数の短縮化	医師・看護師・退院支援室	平均在院日数	12日	13.9日	C	14.5日	平均在院日数
コスト意識の向上	医師・看護師・事務	薬剤の適正使用、デバイス類の適切な選択のための意識啓発	スタッフミーティング月1回	年5回	D	-	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比10%減	61.76時間	C	65.94時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	消化器内科	総括責任者	部長 厚川 和裕
—		副責任者	主任医長 斯波 忠彦

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

知識、技術を向上させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
技術向上のための他院での手技見学	医師	見学数	科全体で週0.5日	1日	S	0.5日	(なし)
認定医・専門医の資格取得	医師	認定医・専門医数	取得数1人1個増	0.5個	D	2個/年	有資格者数
内視鏡介助を行う看護師のスキルアップ	医師・看護師	勉強会開催数	月2回	月0.5回	D	0回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動および学生の教育を充実させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年8回	8回	B	8回	学会及び論文研究発表件数
学生のポリクリ、クラークシップを積極的に受け入れる	医師	学生数	年6名	9名	S	6名	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	循環器内科	総括責任者	部長	松原 隆
病棟名	3B病棟	副責任者	部長	高木 俊介

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

医療効率の人的・時間的・空間的・経済的向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会講演会などへの積極的参加	医師	紹介率	80%	73.86%	C	79.91%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	279%	268.12%	C	274.36%	紹介率・逆紹介率
外来待ち時間の短縮による業務の効率化	医師・看護師・DC・検査技師・事務	患者1人当りの平均診察待ち時間	前回調査比10分短縮	35分	A	1時間7秒	(なし)
急性心筋梗塞に対するクリニカルパスの導入	医師・看護師・DC・検査技師・事務	パスの作成	1種類増加	0	D	0	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

市民病院に対する市民の評価向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師・看護師・DC・検査技師・事務	患者1人当りの平均診察待ち時間	前回調査比10分短縮	35分	A	1時間7秒	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増加を目指します。
- ②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による入院患者の確保	医師	年間紹介患者受入数	年間紹介入院患者循環器内科 200人	226人	B	198人	1日当たり平均入院患者数
救急搬送患者受入による重症患者確保	医師	年間救急搬送患者受入数	年間救急搬送患者循環器内科 280人	301人	B	280人	入院診療単価
PCI適応患者増加による入院診療単価の増加	医師	年間入院診療単価	前年度比10%増	71,385円	C	65,080円	入院診療単価
心臓大血管センター内におけるコスト意識の向上	医師・看護師・薬剤師・放射線技師・ME	材料費購入単価の削減	前年度比平均5%削減	-0.9%	D	-	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比10%減	65.75時間	C	68.37時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	循環器内科	総括責任者	部長	松原 隆
病棟名	3B病棟	副責任者	部長	高木 俊介

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ② 新専門医制度による専門研修基幹病院との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修の参加	医師	参加数	1人当り5回	4.2回	C	20回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
専門医取得	医師	専門医数、研修施設獲得	1人	延べ2人	S	1人	有資格者数

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・学会発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年3回	1回	D	3回	学会及び論文研究発表件数
市民に対する疾患の啓発活動	医師・看護師	実施回数	年1回	2回	S	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	神経内科	総括責任者	部長	小出 隆司
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域医療連携による診療の効率化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	93%	95.72%	B	88.81%	紹介率・逆紹介率
脳血管疾患に対するクリニカルパスの導入	医師、看護師、事務職	パスの作成	使用件数増加	3件	B	0	(なし)
脳卒中地域連携パスの使用	医師・看護師	地域連携パスの作成	50以上	4件	D	12	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者が受診しやすい環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師、看護師	患者1人当たりの平均診察待ち時間	前回調査比10分短縮	26分	S	1時間18分31秒	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増を目指します。
②「脳卒中センター」として、脳血管疾患急性期の信頼される高度な診療体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による入院患者数の確保	医師	神経内科の新規入院患者数	200人以上	151人	C	215人	1日当たり平均入院患者数
重症患者確保による入院診療単価の増	医師	年間入院診療単価	46,000円	47,178円	B	41,542円	入院診療単価
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師、看護師、病院薬剤師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年比10%削減	10.63時間	A	14.92時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	神経内科	総括責任者	部長 小出 隆司
—		副責任者	

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ② 新専門医制度による専門研修基幹施設との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修への参加	医師	参加数	5回	3回	D	2回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
専門研修基幹施設との情報交換会への参加	医師	参加数	年2回	4回	S	0回	(なし)
ISLS開催	医師・看護師等	開催回数	2回以上	2回	B	2回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 論文・発表など学術活動の充実を図ります。
- ② 神経疾患に関心のある学生の育成に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	1編	1編	B	3編	学会及び論文研究発表件数
研究発表	医師・看護師	発表数	年3回	3回	B	1回	学会及び論文研究発表件数
神経疾患に関心のある学生の受け入れ	医師・看護師	人数	(臨床研修医師) 全員	0名	D	0名	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	緩和ケア内科	総括責任者	部長	赤津 知孝
病棟名	外来	副責任者	看護科長代理	大津 聡美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①緩和ケアを必要とする患者さんを積極的に拾い上げ、多職種からなるチームが質の高い緩和ケアを実現します。
②患者さんが気軽に相談できる窓口(がん相談支援センター)を設置します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
「苦痛のスクリーニング」の実施	医師、看護師、薬剤師など	実施件数	500件	549件	B	0件	(なし)
がん相談支援センター	がん専門相談員	相談件数	70件/年	83件	B	127件	(なし)
多職種での合同カンファレンス(緩和ケア委員会において)	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師ほか	実施回数	年12回	年12回	B	年12回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①一人一人の患者さんの苦痛や悩み(身体的、精神的、社会的苦痛など)が和らげられています。
②患者さん同士が気軽に語り合える場(がん患者会)や緩和ケアの啓発イベントなどを提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケアチームでの回診・カンファレンス	医師、看護師、薬剤師	実施回数	毎週2回	毎週2回	B	毎週2回	(なし)
がん患者の会「なでしこの会」の開催	医師、看護師、管理栄養士、リハビリ技師など	開催回数	年4回	年4回	B	年4回	情報発信件数
緩和ケア週間(相談・啓発イベント)の開催	医師、看護師、管理栄養士、リハビリ技師など	開催回数	年1回	年1回	B	年1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①がん診療に携わるすべての医師が「緩和ケアにかかわる研修会」を受講し、がん性疼痛緩和指導管理料の算定件数の増加を目指します。
②緩和ケアの診療依頼件数の増加を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
がん性疼痛緩和指導管理料(200点)(緩和ケアにかかわる研修会の受講が条件)	医師	算定患者数	年300件	212件	C	295件	医業収支比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	緩和ケア内科	総括責任者	部長	赤津 知孝
病棟名	外来	副責任者	看護科長代理	大津 聡美

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院職員全体が意欲的に緩和ケアへ取り組めるよう、職員の教育と啓発活動に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケアにかかわる研修会(全職種対象)	医師、看護師、薬剤師	開催数	年1回	年1回	B	年1回	(なし)
緩和ケア勉強会(全職員対象)	医師、看護師、薬剤師	開催数	年1回	年1回	B	年1回	(なし)
病棟への押しかけ勉強会	看護師、薬剤師	開催数	年4回	年4回	B	年4回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

緩和ケアチームとして研究発表など学術活動や院外の研修会の講師・講演にも積極的に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師、看護師、薬剤師	発表数	年1回	1回	B	年1回	学会及び論文研究発表件数
院外研修会の講師・講演	医師、看護師、薬剤師	講演回数	年1回	2回	S	年1回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	精神科	総括責任者	部長 山田 健一郎
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

急性期治療における精神科介入によって、患者のQOLや業務のスムーズな遂行を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
入院患者への精神医学的問題に対する3日以内の介入	医師、看護師	3日以内の介入数	月2回	月平均30件	S	月平均30件	(なし)
地域単科精神科病院への訪問	医師、看護師、精神保健福祉士	訪問数	年4件	年3回	C	年4件	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

入院生活における心の問題(不安、それに引き続く不眠など)に対し、高度な診療体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他科からの紹介患者を積極的に受け入れる	医師、看護師	依頼患者数	前年比10%増	月平均30件	C	月平均30件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

コスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
入院、外来患者の精神療法を行った際の加算の取得	医師	入院、外来精神療法施行数	前年比10%増	4,356件	B	3,892件	医業収支比率
救急患者の入院3日以内における入院精神療法の実施	医師	実施件数	20件以上	45件	S	0件	医業収支比率
精神科リエゾンチーム加算の取得	リエゾンチーム	算定件数	前年度比5%増	1,112件	S	683件	医業収支比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	精神科	総括責任者	部長 山田 健一郎
—		副責任者	

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院運営のための院内研修会に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修への参加	医師	参加数	1人当たり5回	4回	C	4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文、発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師、看護師	発表数	年1回	1回	B	0回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	小児科	総括責任者	部長 山田 健一郎
病棟名	5D小児科・NICU・GCU	副責任者	看護師長 細山 和美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①質の高い高度医療を提供するため、紹介患者を中心とした診療を展開します。
- ②小児救急・周産期救急維持の為、必要な小児科医を確保します。
- ③産科と連携し、地域の産婦人科開業医からの新生児・母体搬送を積極的に受け入れます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得の為の開業医との連携	医師	紹介率	90%	87.32%	C	78.49%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	50%	27.56%	D	28.98%	紹介率・逆紹介率
紹介以外の初診患者の開業医への誘導による外来業務の効率化	医師・看護師	紹介率 平均診察待時間	90% 前回調査比10% 短縮	87.32% 30分	B	78.49% 40分13秒	(なし)
小児救急医療体制・周産期救急医療体制維持の為の小児科医確保	医師	小児科医師数	10人	8人	C	8人	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

24時間・365日、小児患者、新生児の受入に努力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域開業と連携し、紹介中心の外来とすることで待ち時間を短縮	医師	平均診察待ち時間	前回調査比10% 短縮	30分	B	40分13秒	(なし)
小児救急医療体制・周産期救急医療体制維持の為の小児科医確保	医師	小児科医師数	10人	8人	C	8人	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①空床を減らし、病床を有効に活用します。
- ②総合入院体制加算を取るべく、外来縮小体制をとります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
予定入院増加による病床の有効活用	医師	全入院数・予定入院数	予定入院数前年度比5%アップ	115人	S	60人	病床利用率
地域開業医との連携による外来縮小体制	医師	通院不要的退院率	40%	45.7%	B	15.4%	1日当たり平均外来患者数
チーム医療による業務効率化で時間外勤務削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%減	34.16時間	B	39.99時間	職員給与対費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	小児科	総括責任者	部長 山田 健一郎
病棟名	5D小児科・NICU・GCU	副責任者	看護師長 細山 和美

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①各個人の能力向上の為、院内研修会に積極的に参加します。
- ②小児科医としての能力向上の為、小児科の専門学会・研修会などに積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催の研修会への参加	全所属職員	参加数	1人当たり5回	2.5回	D	3回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
小児科専門学会・研修会への参加	医師	参加数	1人当たり4回	6.4回	S	5回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会・研究会に参加し、積極的に発表を行います。
- ②市民向け講演会・地域医師会主催の講演会等に参加し、講演を行います。
- ③看護師育成のために、看護学校の授業も担当します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師・看護師	発表数	年4回	9回	S	3回	学会及び論文研究発表件数
市民向け講演会	医師・看護師	講演数	年4回	15回	S	-	講座及び講演数
看護学校授業	医師	授業回数	年7回	7回	B	7回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	外科	総括責任者	部長	中川 基人
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術(高度な医療)が必要な患者に24時間365日、一件でも多くの外科手術を提供します。
 ②双方で顔の思い浮かぶ病診連携により外来診療を縮小します。
 ③多職種連携チームの活動を通じてSSIの減少に取り組みます。
 ※目標値については、特段の記載がない限り外科全体(外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科)とする。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
技術習得等による外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、救急外科の手術実行数の増	医師	外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、救急外科の手術件数	1,060件/年	1,031件/年	C	1,163件/年	手術件数
信頼関係の強い病診連携先数を得るための開業医訪問回数増	医師、事務職	訪問回数	2回/月	25回/年	B	0.75回/月	紹介率・逆紹介率
SSI(術後創感染)発生率の減	医師、看護師	消化器外科でのSSI発生率	7.5%未満	4.7%	A	7.5%	(なし)
診療情報提供の積極的な実施	医師	退院時診療情報提供書の率	25%	42.6%	S	20%	通院不要的退院率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 分かりやすい説明により、患者さんが安心して受診できる体制を整えます。
 ※目標値については、外科全体(外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科)とする。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
ホームページの充実	医師、薬剤師	ホームページ更新回数	2回/年	2回/年	B	2回/年	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- 収入確保と支出削減に努めます。
 ※目標値については、特段の記載がない限り外科全体(外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科)とする。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携や手術症例数の増加による入院患者の確保	医師	新入院患者数	130人/月	102人/月	C	121人/月	入院診療単価
手術が必要な入院患者を増やし、手術を数多く行うことによる診療稼働額増及び診療単価増	医師	外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、救急外科の手術件数	1,060件/年	1,031件/年	C	1,163件/年	医業収支比率
算定可能な診療行為を調べ上げ、徹底的な落ち穂拾い作戦を実行することによる診療稼働額増	全職種	実施	実施	実施	B	-	(なし)
減らすことのできる診療材料費とDPC包括行為を調べ上げ、外科医と事務職の徹底討論により支出減	医師・事務職	実施	実施	実施	B	-	診療材料費対医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務減に伴う支出減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%減	65.86時間	B	69.57時間	職員給与対医業収支比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	外科	総括責任者	部長	中川 基人
—		副責任者		

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新専門医制度における外科専門研修基幹施設としての要件を維持し続けます。
 ②基本領域に加えて2階、3階部分の専門医資格申請要件に足る診療および学術活動を行います。
 ※目標値については、特段の記載がない限り外科全体(外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科)とする。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
基幹施設要件を満たす手術件数の確保	医師	外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、救急外科の手術件数	1,060件/年	1,031件/年	C	1,163件/年	(なし)
基幹施設要件を満たす有資格医師数の確保	医師	資格保持者数	現状維持	維持	B	要件満たしている	有資格者数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学術活動の充実を図ります。
 ②学生の育成に貢献します。
 ③頻度の高い外科疾患について、市民の理解を深めます。
 ※目標値については、外科全体(外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、救急外科)とする。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
論文発表	医師	発表数	9編/年	7編	C	3編/年	学会及び論文研究発表件数
学会座長や講演会講師など社会に求められる指導的活動の機会を多く得る	医師	回数	19回/年	19回/年	B	19回/年	(なし)
医学生に外科学を学ぶのに必要な臨床実習の場を積極的に提供する	医師	受入率	100%	100%	B	100%	学生実習受入人数
学会発表	医師	発表数	33回/年	67回	S	33回/年	学会及び論文研究発表件数
胃・大腸・胆石・肝臓・鼠径ヘルニア・肛門・乳腺・varix・ASOの出張講座を市役所で行う	医師	開催数	8回/年	0回	D	-	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	呼吸器外科	総括責任者	部長	中川 基人
病棟名	4D病棟	副責任者	看護師長	西島 由美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術件数の増加と在院日数の短縮に努めます。
②地域医療連携の推進により病院の機能分化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
クリニカルパスの作成	医師	作成数	1つ	0	D	-	(なし)
地域連携パス運営症例数の増加	医師	登録患者数	最低1人	0	D	-	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者満足度の高い診療を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
平均在院日数の短縮による患者負担の軽減	医師	平均在院日数	前年度比10%短縮	12.8日	D	10.2日	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病床稼働率の向上と収入の確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
クリニカルパス導入による平均在院日数の短縮	医師	平均在院日数	前年度比10%短縮	12.8日	D	10.2日	平均在院日数
手術件数の増加による収入の確保	医師	手術件数	前年度比5%増	9件	D	116件	医業収支比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	呼吸器外科	総括責任者	部長	中川 基人
病棟名	4D病棟	副責任者	看護師長	西島 由美

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学会及び研究会へ積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師	参加回数	2回/人	-		-	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学会発表に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表回数	1回/人	-		-	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	消化器外科	総括責任者	部長 山本 聖一郎
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より多くの症例に対応し、医療の質の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
一般消化器外科手術症例数の増加	医師	手術症例数	800件	694件	C	745件	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より詳細な情報発信により、安心して受診していただける環境を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病院ホームページの充実	医師	内容の充実	より詳細な記載	実施	B	-	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

多くの症例の手術に対応することで、患者を確保するとともに、収入増を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
手術症例の増加による入院診療単価の増	医師	(外科、消化器外科、血管外科の)入院診療単価	前年度比5%増	84,100円	B	78,689円	入院診療単価

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

知識の習得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師	参加回数	1人あたり4回	1人あたり6回	S	1人あたり3.3回	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	消化器外科	総括責任者	部長 山本 聖一郎
—		副責任者	

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文など学術活動に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	1人4回	1人6.2回	S	1人あたり3.1回	学会及び論文研究発表件数
論文	医師	論文数	英文2、和文5	英文3、和文1	D	英文0、和文2	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	血管外科	総括責任者	部長 大住 幸司
病棟名	3B病棟	副責任者	看護師長 高田 佳奈子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

院内他科との連携を図り、共同手術を行い、お互いの得意不得意分野を補い合い高難度手術を安全に遂行します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
心臓血管外科、放射線科と連携し低侵襲手術を充実させる	医師	共同手術件数の増加	前年度比10件増	-		95件	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

低侵襲手術の実施による患者満足度の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
低侵襲手術の充実による平均在院日数の短縮	医師	(外科、消化器外科、血管外科の)平均在院日数	前年度比5%減	11.8日	C	12.1日	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

手術件数を増やすことで増収を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による手術件数の確保	医師	医師1人当たり手術件数	前年度比5%増	233件	A	168件	医師及び看護師1人当たり入院診療収入
低侵襲手術の充実や手術件数の増による入院診療単価の向上	医師	(外科、消化器外科、血管外科の)入院診療単価	前年度比5%増	84,100円	B	78,689円	入院診療単価

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

資格を要する手術に関する資格取得者数を増やすことにより職員の満足度を高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
静脈瘤血管内焼灼術の資格獲得	医師	獲得人数	1人	-		0人	有資格者数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	血管外科	総括責任者	部長 大住 幸司
病棟名	3B病棟	副責任者	看護師長 高田 佳奈子

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師	発表数	最低年1回	1回	B	年3回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	心臓血管外科	総括責任者	部長 井上 仁人
病棟名	3B病棟	副責任者	看護師長 高田 佳奈子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①紹介患者獲得のために既存の病病連携の継続と新規開拓を行います。
②地域に信頼される最高水準の心臓血管外科治療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための病病連携の継続	医師	紹介患者数	70人	71人	B	63人	手術件数
地域に信頼される最高水準の心臓血管外科治療	医師	死亡率	3%以下	3.8%	C	3%以下	重症度、医療・看護必要度(一般病棟)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんの負担を軽減する治療を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト、オフポンプバイパスなどの患者にやさしい治療の実施	医師	ステントグラフト件数 オフポンプバイパス件数	前年度比5%増 前年度比10%増	ステントグラフト20件 オフポンプバイパス24件	C	ステントグラフト26件 オフポンプバイパス24件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

ステントグラフトなどの診療科を越えた集学的治療・オフポンプバイパスなどの手術コストを含めた手術選択により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフトなどの診療科を越えた集学的治療・オフポンプバイパスなどの手術コストを含めた手術選択	医師	入院診療単価	前年度比5%上げる	118,719円	B	109,136円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	心臓血管外科	総括責任者	部長 井上 仁人
病棟名	3B病棟	副責任者	看護師長 高田 佳奈子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上のための機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
研修医のための心臓手術シミュレーション	医師	研修医全員の受講	研修医全員	研修医全員	B	ローテーター全 員受講	(なし)
心臓血管外科ウエットラボによる手術シミュレーション	医師	受講人数	50人	50人	B	50人	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

アカデミックサーजनとしての意識改革と業績の構築を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	5編	5編	B	2編	学会及び論文研究 発表件数
研究発表	医師	研究発表数	10回	12回	A	16回	学会及び論文研究 発表件数
ステントグラフト実施医・指導医の育成	医師	実施医、指導医	4人	実施医1人	D	0人	(なし)

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	脳神経外科	総括責任者	部長	中村 明義
病棟名	3A、救命、ICU	副責任者	医長	菊地 亮吾

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療支援のため、紹介及び逆紹介を積極的に行います。
②重症患者の診療を中心に行うため手術室の有効利用を図り手術件数の増加に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介の推進	医師	紹介率	68%	39.82%	D	43.88%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	124%	104.03%	C	119.41%	紹介率・逆紹介率
紹介、救急症例の増加による手術件数の増加	医師、看護師	手術件数	150件	199件	A	101件	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

重症患者を受け入れ、いつでも緊急手術に対応可能な体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
緊急手術件数の増加	医師、看護師	緊急手術件数	100件	131件	A	65件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで入院稼働額の増を目指します。
②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
重症患者確保による入院診療単価の増	医師	年間入院診療単価	57,360円	74,302円	A	53,562円	入院診療単価
1日当たり平均入院患者数	医師	1日当たり平均入院患者数	20人	22.0人	B	20人	1日当たり平均入院患者数
平均在院日数の短縮	医師、看護師、MSW	平均在院日数	16日	18.7日	C	22.4日	平均在院日数
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比10%減	78.83時間	D	63.25時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	脳神経外科	総括責任者	部長	中村 明義
病棟名	3A、救命、ICU	副責任者	医長	菊地 亮吾

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

専門研修基幹施設との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
専門研修基幹施設との研修会への参加	医師	参加数	年3回/科	3回	B	3回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	3編/科	1編	D	4編	学会及び論文研究発表件数
研究発表	医師	発表数	年5回/科	10回	S	8回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	乳腺外科	総括責任者	部長 米山 公康
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

対外的活動を増進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他病院との連携によるパラメディカル教育	医師・看護師・技師・薬剤師	参加人数	年1回	1回	B	0回	(なし)
紹介患者獲得のための開業医向け乳腺疾患講演の実施	医師	実施回数	年1回	0回	D	0回	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

媒体の積極的活用により、患者さんに安心して受診していただける体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
ホームページの充実(改訂回数の増加)	医師・薬剤師	更新回数	年2回	2回	B	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

高度な医療を積極的に実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
術前術後化学療法の積極的実施	医師	化学療法施行数	前年度を上回る件数	延べ613件	B	-	外来診療単価
術前MRI検査の積極的実施	医師	MRI実施数	前年度を上回る件数	136件	B	18件	外来診療単価
開業医向け乳腺疾患講演の実施での紹介患者獲得による入院患者増	医師	紹介患者数	前年度比10%増	367人	C	444人	1日当たり平均入院患者数
質の高い診療による入院診療単価の増	医師	入院診療単価	前年度比5%増	78,493円	C	77,391円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	乳腺外科	総括責任者	部長 米山 公康
—		副責任者	

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内カンファレンスおよび院外カンファレンス・研究会へ参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内乳腺画像カンファレンスの開催	医師・技師	開催回数	月1回	月1回	B	0回	(なし)
院内乳腺病理カンファレンスの開催	医師・技師	開催回数	月1回	0回	D	0回	(なし)
院外研究会参加	医師	参加数	年1回	7回	S	多数	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動および対外活動を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年4回	4回	B	4回	学会及び論文研究発表件数
論文発表	医師	論文数	年2本	0本	D	0本	学会及び論文研究発表件数
公開市民講座の開催	医師・薬剤師	開催回数	年1回	0回	D	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	整形外科	総括責任者	部長 内田 尚哉
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域の医師との垣根のない連携を構築します。
②病院内の効率的な運用を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための開業医回りの推進	医師	開業医訪問数	15回	21回	A	0回	紹介率・逆紹介率
紹介患者獲得のための開業医回りの推進	医師	紹介患者数	400人	452人	B	368人	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	150%	118.73%	C	144.72%	紹介率・逆紹介率
退院時の診療情報提供書作成の推進	医師	通院不要的退院率	40%	28.2%	C	18.6%	通院不要的退院率
大腿骨骨折地域連携パスの合同会議の出席	医師、病診連携室、看護師、技師	出席回数	2回	2回	B	1回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんにとっての快適な診療体制を整備します。
②地域の医師への情報発信を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師、外来看護師、事務職	患者1人当たりの平均診察待ち時間	前回調査比5分短縮	39分	B	45分27秒	(なし)
適切な患者接遇の推進	医師	苦情に関する投書件数	前年度比10%減	23件	A	42件	(なし)
病診連携室経由で開業医への「整形外科だより」の送付	医師	送付回数	年2回	年2回	B	0回	情報発信件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	整形外科	総括責任者	部長	内田 尚哉
—		副責任者		

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増加を図ります。
②職員の業務の効率化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
重症患者中心の診療による稼働額の増加	医師	稼働額(外来+入院)	前年度比5%増	885,597,256円	C	864,700,797円	医業収支比率
重症患者中心の診療による新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	前年度比5%増	683人	C	684人	1日当たり平均入院患者数
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比20%削減	66.63時間	B	83.61時間	職員給与費対医業収益比率
手術室の適正な運用の推進	医師	手術件数	720件	692件	C	676件	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

医師自らの能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会参加の推進	医師	参加数	1人当たり2回以上	延べ10回	C	約1回/人	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文、発表などの学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表、講演	医師	参加数、講演数	科あたり5回	3回	D	5回	学会及び論文研究発表件数
論文	医師	論文数	科あたり2編	0編	D	3編	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	形成外科	総括責任者	部長	宮崎 宏道
病棟名	5B病棟	副責任者	医師	鈴木 彩馨

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

決められた時間内に多くの患者を診られる診療体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間の短縮による効率化	医師、看護師、検査技師	患者1人当たりの平均診察待ち時間	前回調査比5分短縮	1時間38分	D	29分23秒	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんが治療内容をよく理解したうえで、安心して診療を受けられる環境を整備します。
②患者さんを積極的に受け入れます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
手術説明関連資料の作成	医師・看護師・事務職	作成数	5種類	2種類	D	-	(なし)
外来時間外患者の積極的受入れ	医師・看護師	外来時間外受付患者数 (6～3月)	10件/月	13件/月	A	外来時間外なし	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

手術件数増加、入院患者の確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による時間外勤務削減	医師、看護師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比10%減	21.25時間	A	35.33時間	職員給与費対医業収益比率
手術枠の空き削減	医師、看護師	手術件数	前年度比10%増	693件	A	428件	医業収支比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	形成外科	総括責任者	部長	宮崎 宏道
病棟名	5B病棟	副責任者	医師	鈴木 彩馨

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院内研修会に積極的に参加します。
②知識と研鑽を積むために他病院見学や学会への参加を積極的に行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
研修会への参加	医師	参加数	1人当たり5回	2回	D	1回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
他院への手術見学(有給休暇使用)	医師	見学数	年2回	2回	B	1回	(なし)
学会への参加	医師、看護師	学会参加数	年3回	1回	D	2回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	3編	1編	D	0編	学会及び論文研究発表件数
学会発表数	医師	学会発表数	3編	0編	D	1編	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	皮膚科	総括責任者	科医長 藤尾 由美
病棟名	5B病棟	副責任者	看護師長 前田 まゆみ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

がん診療連携指定病院の皮膚科として、今まで以上に皮膚がんの診断から治療まで、迅速で質の高い医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
再診患者のうち、検査・特殊治療・特定疾患・難病で通院している患者以外の逆紹介を推進する。	医師	外来患者数	一日平均80人	79.0人	B	一日平均95人	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

病院の皮膚科に求められる複数検査や治療に重点を置いていくため、また待ち時間短縮のための外来体制を作っていきます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
逆紹介の推進による外来待ち時間の減少	医師	診察待ち時間	前回調査比10%減	41分	A	1時間13分31秒	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

外来患者単価増を目指すため、今まで以上に光線治療の充実をめざします。また、職員のコスト意識の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
紫外線療法件数の増加	医師・看護師	治療件数	年間2,900件・外来診療単価4,800円	年間2,715件・外来診療単価5,158円	B	年間2,710件・外来診療単価4,543円	1日当たり平均外来患者数
定期的な科内スタッフミーティングによるコスト漏れの減少	医師・看護師・事務員	消耗品・診療材料の節約・コスト漏れ指導料請求漏れを減らす	スタッフミーティング月1回	5回/年	D	2回/年	診療材料費対医業収益比率
外来での超音波検査の増加	医師	検査件数	50件/月	3-4件/月(依頼を含めると10件/月)	D	11件/月(2017年1月～)	医業収支比率
皮膚悪性腫瘍を中心とした手術件数の維持・増数	医師(4→3名に減数の体制で)	手術件数	入院95・外来400件	入院72・外来445件	C	入院83・外来402件	医業収支比率
効率的な診療の実施により入院診療単価を上げる	医師、看護師	入院診療単価	前年度5%上昇	43,433円	B	38,451円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	皮膚科	総括責任者	科医長 藤尾 由美
病棟名	5B病棟	副責任者	看護師長 前田 まゆみ

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

個々人の知識の充実・技能向上のため院内外への研修会に積極的に参加していきます。専門医受験資格のある者に対しては、積極的に資格獲得を目指してもらいます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
各種研修会への参加	医師	参加回数	1人当たり年5回	1人当たり8回	S	年2回/年	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文作成・学会発表など、なお一層の学術活動の充実をはかります。また医師会などにおける講演会も積極的に引き受けます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	10件/年間	9件/年	C	9件/年	学会及び論文研究発表件数
論文作成	医師	論文数	5/年間	7/年	A	1/年	学会及び論文研究発表件数
講演会	医師	講演会回数	2回/年間	1回/年	D	0回/年	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	泌尿器科	総括責任者	部長 森 紳太郎
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

最適な治療の推進と過剰医療の防止を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
チームでの医療体制の確立	医師、看護師	年間新入院患者数	5%増	619人	C	632人	(なし)
開業医回りによる紹介患者の獲得	医師	紹介率	68%	66.44%	C	64.38%	紹介率・逆紹介率
逆紹介の推進	医師	逆紹介率	90%	45.81%	D	63.65%	紹介率・逆紹介率
疾患に対するクリニカルパス導入	医師	パス利用率	90%	90%	B	90%	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

チーム医療による患者満足度の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
チーム医療の確立による患者満足度の向上	医師、看護師	年間新入院患者数	5%増	619人	C	632人	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者の確保により、入院稼働額の増を目指します。
②職員のコスト意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得やチーム医療による入院患者数の確保	医師	新入院患者数	前年度比5%増	619人	C	632人	1日当たり平均入院患者数
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比10%減	54.29時間	B	68.47時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	泌尿器科	総括責任者	部長 森 紳太郎
—		副責任者	

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

積極的な学会への参加 勉強会の開催により職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
勉強会の開催	医師 看護師	隔月の勉強会	年6回	年6回	B	年3回	(なし)
他施設への手術見学	医師	見学回数	年1回	年2回	B	年1回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

当院でのみ施行できる4次元排尿評価を広く世の中に啓蒙します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
論文	医師	論文数	3編	3編	B	3編	学会及び論文研究発表件数
研究	医師	発表数	3回	2回	D	4回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	産婦人科	総括責任者	部長	笠井 健児
病棟名	4AB/5D産科	副責任者	看護師長 看護師長	千葉 多恵子 川邊 康子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市内診療所との連携を強化します。
②県内病診との連携を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
平塚市産婦人科医会例会参加	医師	紹介率	80%	68.26%	C	64.32%	紹介率・逆紹介率
逆紹介の推進	医師	逆紹介率	70%	25.05%	D	32.04%	紹介率・逆紹介率
神奈川県産婦人科医会参加	医師	紹介率	80%	68.26%	C	64.32%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①緊急時にも積極的に対応することで、子どもを産み育てやすい環境を作ります。
②患者さんに快適な療養環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
無痛分娩の認知、告知	医師	適応比率	10%増	0%	D	2.7%	分娩件数
母体搬送の積極的受け容れ	医師・助産師	患者数	20件	14件	C	11件	分娩件数
周産期救急の受け容れ	医師・助産師	患者数	10%増	326件	B	277件	産科・小児科(周産期)の救急受診患者受入数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①様々な症例に対応することで収入増を目指します。
②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
病診連携による入院患者数の増加	医師	年間延入院患者数	10,000人	9,238人	C	9,541人	1日当たり平均入院患者数
悪性腫瘍患者増加、手術症例増加による入院診療単価の増加	医師	年間入院診療単価	70,000円	70,848円	B	67,316円	入院診療単価
職員のコスト意識醸成による診療材料費の削減	医師、看護師、助産師	診療材料費	10%削減	-		-	診療材料費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	産婦人科	総括責任者	部長	笠井 健児
病棟名	4AB/5D産科	副責任者	看護師長 看護師長	千葉 多恵子 川邊 康子

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①日本産科婦人科学会専門医資格の取得を支援します。
- ②臨床研修指導医資格を取得します。
- ③新専攻医制度での基幹施設との連携を強化します。
- ④院内研修会へ積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
日本産科婦人科学会専門医資格の取得	医師	資格取得	1人	1人	B	1人	有資格者数
臨床研修指導医資格の取得	医師	資格取得	1人	1人	B	1人	有資格者数
専門研修基幹施設での研修プログラム委員会参加	医師	参加回数	科全体で年6回 (2回×3施設)	6回	B	H29から開始	(なし)
院内研修会参加	医師	参加回数	1人当たり年5回	2.8回	D	-	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表、論文投稿など、学術活動の充実を図ります。
- ②後進の育成に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	科全体で年3回	2回	D	3回	学会及び論文研究発表件数
論文執筆	医師	論文数	科全体で年3編	1編	D	1編	学会及び論文研究発表件数
当科医療に関心のある学生の積極的受け入れ	医師・看護師	受け入れ人数	3名	0名	D	2週間1名 1日6名	学生実習受入人数
看護学部、看護学校での講義	医師	のべ講義数	16回	16回	B	16回	講座及び講演数
市民向け出張講座	医師・助産師	開催数	年4回程度	0回	D	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	眼科	総括責任者	部長	白石 亮
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を深め、地域医療の充実を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会眼科部会への参加	医師	参加回数	年2回	1回	D	年2回	(なし)
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	112%	140.58%	A	107.12%	紹介率・逆紹介率
科内カンファレンス	医師、看護師、視能訓練士	開催数	毎月1回	13回/年	B	随時	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

診察待ち時間の短縮につとめ、患者満足度の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化・他職員との連携強化	医師、看護師、視能訓練士	診察待ち時間	前回調査比10分短縮	26分	S	1時間10分16秒	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術患者を確保することで、入院稼働額増を目指します。
- ②コスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による手術患者の確保	医師	手術件数	240件/年	225回	C	218件	医業収支比率
手術時のコスト意識の向上	医師	ストック品の削減、使用品の低コスト化(中央手術室)	前年度比10%削減	-		-	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比10%削減	19.33時間	B	24.17時間	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	眼科	総括責任者	部長 白石 亮
—		副責任者	

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ②大学病院との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修への参加	医師	参加数	年5回	3回	D	年4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
大学病院との情報交換会への参加	医師、視能訓練士	参加数	年2回	2回	B	年2回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

眼科医療に関心のある学生の育成に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
眼科医療に関心のある学生の積極的受入れ	医師、視能訓練士	受入人数	1人	0人	D	0人	学生実習受入人数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	耳鼻咽喉科	総括責任者	部長	横山 真紀
病棟名	3A病棟	副責任者	看護師長	日下 順子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

紹介患者受入増、逆紹介の推進により医療の機能分化を進めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域医療機関との積極的な交流による紹介患者受入増	医師、病診連携室	紹介率	60%	58.55%	C	55.67%	紹介率・逆紹介率
地域医療機関との積極的な交流による逆紹介の推進	医師、病診連携室	逆紹介率	70%	47.74%	D	40.04%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①待ち時間短縮により患者満足度を向上します。
- ②診療計画を明確にすることで、患者の不安を和らげます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
診察前、診察後の流れの時間短縮による待ち時間短縮	受付、DA、検査室、会計	患者1人当たりの平均待ち時間	前回調査比5分減	2時間16分	D	1時間1分6秒	(なし)
クリニカルパス運用による入院診療計画の可視化	医師	クリニカルパス運用率	80%	94.01%	B	77.74%	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

診療稼働額の増加を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
逆紹介の推進による外来診療単価増	医師	外来診療単価	7,500円	7,337円	C	6,937円	外来診療単価
重症患者受入による入院診療単価増	医師	入院診療単価	63,000円	54,470円	C	61,698円	入院診療単価

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	耳鼻咽喉科	総括責任者	部長	横山 真紀
病棟名	3A病棟	副責任者	看護師長	日下 順子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院運営を理解するため、院内研修会への積極的な参加を心がけます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師	参加数	1人年5回	2.7回	D	-	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
病院間の症例検討会への参加	医師	参加数	1人年1回	5回 (3人で年15回程度)	S	-	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

研究会、講演会、講習会への積極的な参加を心がけます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年3回	年4回	A	-	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 杉木 正 科長 磯谷 誠
—		副責任者	科長代理 笠原 まゆみ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①大腿骨頸部骨折地域連携パスの使用率の向上により効率化を図ります。
②チーム医療(RST、NST、褥創委員会、緩和医療委員会、糖尿病対策委員会)に積極的に参加し、他職種と連携を取りながらリハビリテーションの視点で進言します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
大腿骨頸部骨折連携パスの使用率の向上	医師	件数	60件(年間)	55件	C	54件(年間)	紹介率・逆紹介率
RST(呼吸サポートチーム)	医師、看護師、臨床工学技士、リハビリテーション技師	開催数(参加)	回診50回 委員会12回 勉強会3回(リハ)	回数47回 委員会12回 勉強会3回	C	回診44回 委員会12回 勉強会4回	(なし)
NST(栄養サポートチーム)	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会4回 講義1回(リハ)	委員会4回 講義1回	B	委員会3回 講義1回	(なし)
褥創委員会	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	回診12回	回診11回	C	回診10回	(なし)
緩和医療委員会	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会12回 イベント1回 講義1回(リハ)	委員会12回 イベント1回 講義1回	B	委員会12回 緩和週間相談1回 講義1回	(なし)
糖尿病診療対策委員会	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、リハビリテーション技師	開催数(参加)	委員会12回 イベント1回 講義1回(リハ)	委員会12回 イベント1回 講義0回	C	委員会12回 糖尿病週間1回 講義1回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

リハビリの計画的な指示・実施により指示・実施単位件数の増加を図ることで、早期にリハビリテーションを実施し、待機患者の削減を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
計画的指示・実施による待機患者数削減	医師、リハビリテーション技師	待機患者数	前年度比5%削減	8名(76.47%削減)	S	34名	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

加算の積極的な取得や指示・実施単位数の向上により、収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
リハビリテーション指示単位数(実施単位数)の向上	医師、リハビリテーション技師	単位数	年46,000単位	45,362単位	C	年45,553単位	医業収支比率
加算の積極的な取得	リハビリテーション技師	件数	計画書2,000枚	計画書1,952枚	C	計画書1,700枚	医業収支比率
加算の積極的な取得	リハビリテーション技師	件数	退院時指導800件	退院時指導960件	A	退院時指導831件	医業収支比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 杉木 正 科長 磯谷 誠
—		副責任者	科長代理 笠原 まゆみ

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①リハビリテーションカンファレンスの定期的な実施や院内研修への積極的な参加により、職員の能力向上を図ります。
- ②科内学習会を実施し、科内職員のスキルアップを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
整形外科カンファレンスの実施	医師、看護師、リハビリテーション技師	開催数	年間50回	49回	C	50回/年	(なし)
脳外科カンファレンスの実施	医師、看護師、リハビリテーション技師	開催数	年間25回	25回	B	25回/年	(なし)
心リハビリテーションカンファレンスの実施	医師、看護師、リハビリテーション技師	開催数	年間50回	35回	C	30回/年	(なし)
他部門主催研修への参加	医師、リハビリテーション技師	参加数	1人あたり年5回	5.1回	B	概ね4回/年	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
科内学習会の開催	リハビリテーション技師	実施回数	年20回	16回	C	20回/年	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①リハビリテーションを目指す学生の育成に貢献します。
- ②市民を対象とした講義等を行います。
- ③学会等で演題発表を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学生指導	リハビリテーション技師	学生実習(リハビリテーション技師)受入人数	年7人	6人	C	7人/年	学生実習受入人数
市民アカデミーなどの講義の実施	医師、リハビリテーション技師	実施回数	年2回	5回	S	年2回	講座及び講演数
学会等での発表	医師、リハビリテーション技師	発表回数	年1回	1回	B	年1回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長 屋代 英樹
—		副責任者	主任医長 小林 真紀子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①CT・MRIを初めとする画像診断機器の有効的活用による検査数の増加と、共同利用数の増加を図ります。
②画像診断管理加算2体制の維持による臨床医への速やかな検査結果報告による医療の質向上を図ります。

MRI検査予約待ちの短縮を図る	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
連携BOXのPR	医師、放射線技師	連携BOXの利用数	前年度比5%増加	141件	A	91件	紹介率・逆紹介率
紹介患者獲得のための開業医への連携強化	医師、放射線技師 地域連携室	紹介数	前年度比5%増加	2,507件(心エコー、内視鏡除く)	B	2,086件	紹介率・逆紹介率
常勤医による夜間・休日遠隔読影の実施	医師	遠隔読影応需率	90%以上	約99%(システムトラブルによる不応例あり)	B	100%	救急患者受入数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①土曜日のMRI委託検査の実施により地域医療へ貢献します。
②検査予約待ちの短縮により、患者サービスの向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
土曜日MRI委託検査の実行	医師・放射線技師	MR検査委託数	MR委託検査1.2倍	703件	C	665件	(なし)
CT検査予約待ちの解消の体制を維持する	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	即日実施	即日実施	B	即日実施	(なし)
検査効率の向上によりMRI検査予約待ちの短縮を図る	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	前年度比10%短縮	単純MRI12日 造影・精密検査17日	C	単純MRI検査5日 造影・精密検査	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①大血管センターの一員として心臓血管外科・血管外科との協力体制の元、ステントグラフト治療を行い、心臓外科・血管外科の入院診療単価の向上を目指します。
②IVR-CTを利用した高度な治療の提供により、肝動脈化学塞栓術・血管形成等の手技を施行し診療単価の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト治療数	医師	手術数	30件以上/年	39件	A	54件	入院診療単価
肝動脈化学塞栓術	医師	件数	50件以上/年	67件	A	49件	入院診療単価
血管形成術	医師	件数	50件以上/年	96件	S	66件	入院診療単価
委託件数や紹介者数増加による収入確保	医師	CT検査委託数	前年度比5%増	1,050件	A	770件	医業収支比率
画像診断管理加算2体制の維持	医師	翌診療日読影率	80%以上	93.6%	B	96.9%	医業収支比率

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長 屋代 英樹
—		副責任者	主任医長 小林 真紀子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

専門医の取得・維持を図るための、学会参加を促進し、高度な診療技術の維持を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
放射線診断専門医維持のための学会参加	医師	参加数	1回/人	1回/人	B	1回/人	有資格者数
IVR専門医取得・維持のための学会参加	医師	参加数(対象者のみ)	1回/人	1回/人	B	1回/人	有資格者数
肺がんCT検診認定医取得・維持のための講習会参加	医師	参加数	2名以上	0名	D	2名	有資格者数
院内にて静脈注射講習会を行い、看護師・臨床研修医師の静脈注射技術の向上を図る	医師	講師回数	各々1回以上	各1回	B	各1回	有資格者数

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表などの学術活動の充実を図ります。
- ②地域医療を支える人員の増加を図るため、地域での看護教育に協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年2回(共同発表含む)	5回	S	5回	学会及び論文研究発表件数
看護大学校での放射線科講義の実施による教育への協力	医師	講座数	2回	2回	B	2回	講座及び講演数

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	玉井 好史
—		副責任者	主任医長	今宮 聡

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高性能リニアックの安定稼働を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
定位照射のスムーズな受け入れ	医師・技師	年間定位照射実施人数	25件/年	30件	A	1件	(なし)
IMRTの本格的な始動	医師・技師	年間IMRTでの治療患者数	20人/年	20件	B	実績なし	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者目線に立った放射線治療を実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
放射線治療の計画から実際の治療までの視覚的確認	医師・技師	紹介DVDの導入	紹介DVDの作製	未導入	D	実績なし	(なし)
各臓器別治療成績の提示	医師	代表疾患のうち3年生存率をHPIに掲載した疾患数	2疾患以上	未提示	D	実績なし	情報発信件数
臓器別の治療に関わる注意説明文書の充実	医師	説明書作成	SRT、IMRT説明文書追加	改訂済み	B	実績なし	(なし)
治療別の請求コスト概算の提示	医師、受付	コスト概算書のテンプレート作製	典型的照射症例の概算表	導入済み	B	実績なし	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

放射線治療の対象患者を獲得します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
院内各種カンファレンスへの出席	医師	年間の院内医師依頼患者数	160人	219人	A	139人	入院診療単価
他院説明会への出席	医師	年間の他院からの紹介患者数	45人	56人	A	41人	外来診療単価

職員行動計画書

【平成29年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	玉井 好史
—		副責任者	主任医長	今宮 聡

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

治療スキル向上のため、学会に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師・技師	参加回数	年1回以上	2回	S	1回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

地域社会へ放射線治療に関する情報を提供し、貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H29目標値	H29実績	評価	H28実績値	KPI (重要業績評価指標)
地域市民への放射線治療説明会	医師	実施回数	2回/年	1回	D	0回	講座及び講演数